

**(仮称)彦根総合運動公園 利活用の方向性** ~ワークショップで考えました(案)

**公園整備の基本的な考え方 ~基本計画より**

県民のスポーツ拠点として機能を強化するとともに、世代をこえて人々に長く愛着を持って利用される多様な機能を備えた公園として、彦根城をはじめとする周辺の景観などと調和を図りながら再整備する。

**A: 国体開催を契機とした県民のスポーツ拠点としての機能強化**

交通アクセスの良さを活かして、県民のスポーツ拠点として整備を行い、日常的にスポーツを楽しむことができる。

**B: 国体開催後も世代をこえて人々に愛着をもって利用される多様な機能を備えた公園整備**

だれもが気軽に、そして安全に安心して利用でき、健康づくりに寄与する公園を整備する。また、環境に配慮し、防災機能の強化を図るとともに、観光資源や地場産業との連携による地域活性化に寄与する公園整備に向けて住民参画のもと取り組む。

**C: 彦根城をはじめとする周辺の景観に調和した公園整備**

世界遺産登録を目指す彦根城など歴史的・文化的な景観に調和した公園を整備する。また、公園整備にあたり、周辺の住環境に配慮した施設計画に取り組む。

**通常時の公園利活用の基本的な考え方 ~ワークショップで考えた公園利活用の方針**

**誰もが自由に楽しめる公園**

スポーツ拠点としてさまざまなスポーツ・運動をするとともに、誰もが日常的に立ち寄り、自由に楽しめる公園としてほしい。また、観光客やサイクリングの人など、県外の人も立ち寄って彦根を楽しめる公園としてほしい。

**気軽にスポーツを楽しめる公園**

- 陸上競技場や庭球場、金亀公園の多目的広場では、専門的な競技スポーツをするだけでなく、県民が日常的に、いろいろなスポーツや運動を気軽に楽しんだり、練習できる公園
- 各利用団体の会議等にも対応

**日常的にふらっと立ち寄れる公園**

- 緑の広場でピクニックをしたり、ボール遊びや遊具遊びをしたり、バーベキューをしたり、ジョギングをしたり、部活帰りに立ち寄るなど、いろいろな人が日常的にふらっと立ち寄り、思い思いに楽しめる公園

**様々なイベントを実施し、多くの人が訪れる公園**

- 陸上競技場や広場などで、地域のイベントやマルシェ、朝市、運動会、防災訓練、大規模な飲食イベント、お城まつり規模のイベントなど県内外の人が行きたくなるさまざまなイベントが開催される公園
- 収益にもつなげる

**彦根城や水辺周遊と一体的に観光利用ができる公園**

- 彦根城などの歴史文化遺産や日本遺産に認定されている「琵琶湖とその水辺景観」等を活かし、公園を観光ルートや周遊コースに含みながら、観光客やサイクリングの人が立ち寄って、憩い、楽しむ公園

**彦根らしい四季・自然・景観を感じる公園**

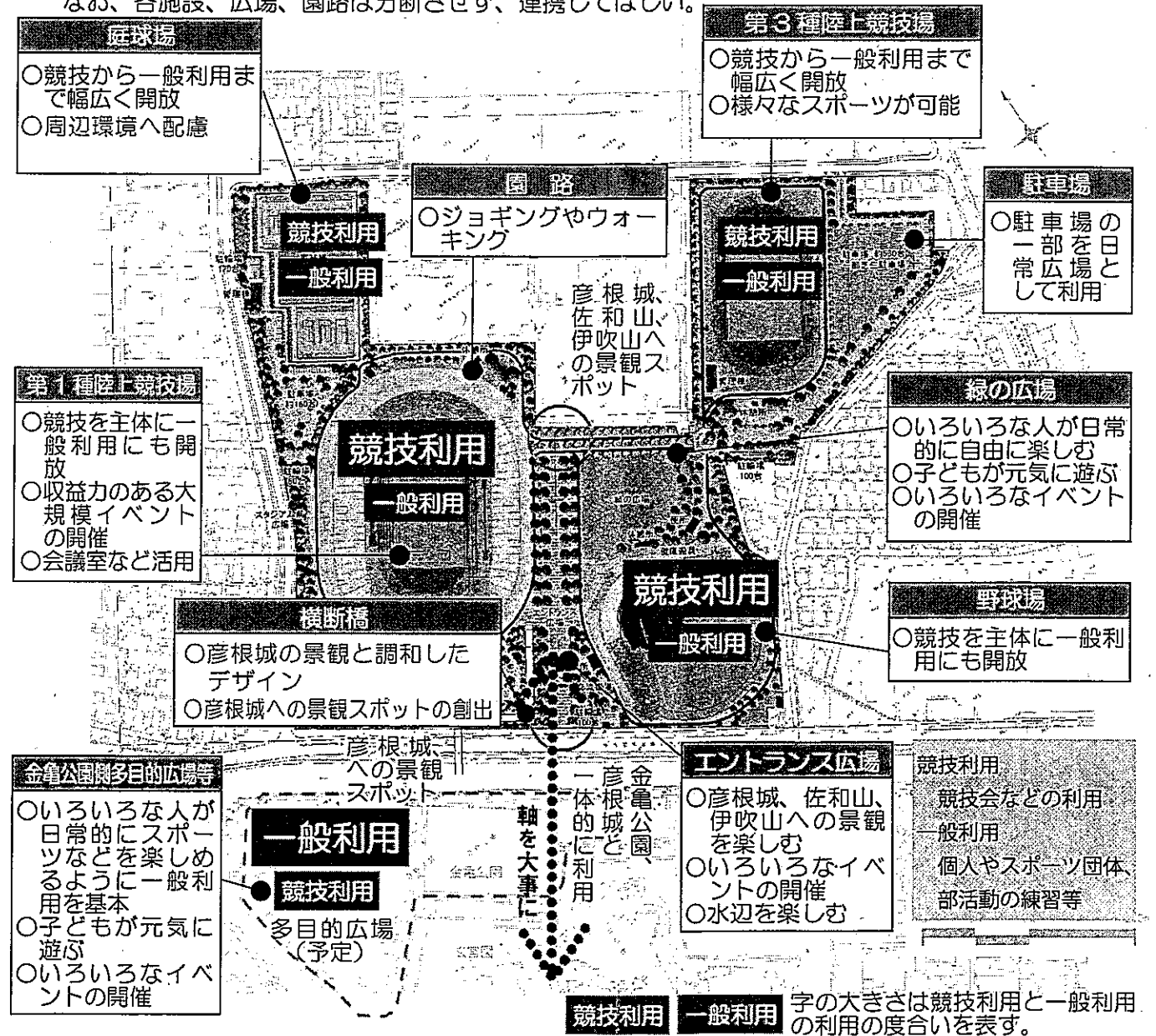
- サクラや紅葉など四季が感じられる豊かな緑に加え、彦根の景観を特徴づける彦根城や伊吹山、佐和山など、歴史や自然景観を魅力的に感じられる公園



**公園の利用分担イメージ ~金亀公園・彦根城との一体的な利用**

より多くの人に使ってもらえる、彦根の代表的な公園とするため、金亀公園・彦根城と一体的に利用ができる公園としてほしい。また、一般利用に関しては金亀公園との役割分担を明確にし、利用方法の住み分けを調整してほしい(多目的広場の利用など)。

なお、各施設、広場、園路は分断させず、連携してほしい。



**誰もが、日常的に楽しめる公園にするために ~使いやすくするための工夫**

誰もが、日常的に楽しめる公園とするため、金亀公園と一体的に以下のような整備・運営の工夫を検討してほしい。

- ★見通し良く、オープンにし、安全で入りやすい雰囲気づくり
- ★彦根城を活かしつつ、調和した景観づくり
- ★天然芝だけでなく、養生期間が必要ない土や人工芝などの場の検討
- ★園路に距離表示を設置
- ★バリアフリーに対応した公園
- ★民間活力の導入により、県内外の人を呼び込めるカフェやサイクルステーションなどの施設整備
- ★普段の多目的利用など使い勝手のよい駐車場
- ★ボール遊びも含めて、安全にさまざまな利用ができるようなルールづくり